

## 1. 特に効果的であり改善に資した事例について

### D. 産業界、地域社会等多様な社会部門と連携した人材養成機能の強化

#### ②産業界等、社会のニーズと大学院教育のマッチングを図るための企業等との教育連携

##### 《人社系》

##### ●大阪大学経済学研究科経営学系専攻

##### 「イノベーションリーダー養成プログラム」の事例

(具体的に何を実施したのか)

外部有識者（東大阪エリアの企業経営者、大企業 R&D マネージャ等）による教育アドバイザー委員会を設立し、技術経営分野におけるイノベーションリーダー養成に関する意見交換会を年 1、2 回行った。加えて、以下のイベントも実施した。

- ①大阪ガス実験集合住宅NEXT 21 見学会(平成 21 年度)
- ②GP フォーラム 2009 の開催(平成 21 年度)
- ③東大阪商工会議所産学ビジネス交流会参加(平成 21 年度)
- ④総括シンポジウムの開催(平成 22 年度)

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

外部アドバイザー委員からの意見をどのようにすれば、具体的なカリキュラムとして構成できるのかについて検討し、学生に対するアンケートの形で授業評価に結び付けた。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

アンケート結果から窺い知れることとして、統計学やマネジメントサイエンス等の数理的なものを基礎としながらも、ビジネスに関するいわゆる「気づき」に相当する戦略創造や企業家精神科目における討議に関してニーズが高く、ビジネス現場における疑似体験を学生たちが強く求めていることが明らかになり、講義内容の改善に貢献した。